

山口県医師会 第186回定例代議員会



と き

令和2年6月18日(木)
15:00～16:05

ところ

山口県総合保健会館2階「第1研修室」

開会宣言

矢野議長、定刻、代議員会の開会を告げ、会長の挨拶を求める。

会長挨拶

河村会長 本日は悪天候の中、また、新型コロナウイルス感染症の状況下での開催にもかかわらず、ご出席いただきまして大変有り難うございます。本日は8件の議案がありますので、慎重にご審議いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

人員点呼

矢野議長、出席代議員の確認を求める。

事務局、確認の上、代議員定数63名、出席代議員54名であることを報告。

議長、定款第25条に基づく定足数を充たしていることから会議の成立を告げる。

議事録署名議員の指名

矢野議長、議事録署名議員に次の2名を指名。

木村 正統(防 府)

林 大資(山口市)

議事(報告事項)

報告第1号 令和元年度山口県医師会事業報告の件

今村副会長 令和元年中に34名の会員がご逝去

された。

一全員起立し、黙祷を捧げる

年度末の新型コロナウイルス感染症の影響で、未実施になっている事業があることをご了承願いたい。

生涯教育

生涯研修セミナーでは臨床のみならず、「山口県の災害リスクとその備えについて」、「AMR対策アクションプランによって抗菌薬適正使用はどう変わったのか」などの幅広いテーマを取り上げて実施した。また、平成30年度から引き続き、専門医共通講習の単位を積極的に取得した。

第102回山口県医学会総会は宇部市医師会の引き受けにより午前の特別講演2題を医師向けに実施したが、同時間帯に県内の中高生を対象にした医師の職業体験を開催し、参加者から大変好評であった。宇部市医師会の先生方に感謝申し上げる。

医療・介護保険

令和2年度の診療報酬改定率は、プラス0.55%の改定となり、医科はプラス0.53%となったが、薬価・材料価格引下げの影響があり全体としては0.46%のマイナス改定となった。

個別指導については保険指導医は全員、県医師

会の保険委員を兼任することとし、立会いについても医師会の保険担当役員（郡市及び県）が行うことで、医療担当者側の立場が尊重された適正な保険指導が実施されるように努めた。

「オレンジドクター制度」が令和元年8月に創設され、その普及に努めた。また、山口県から委託を受けた「PREMIUM オレンジドクター」申請者については、認定審査会に諮り協議を行った。

地域医療

地域医療構想は、同調整会議において議論が進められているが、令和元年度9月には、国から都道府県に対して公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証が要請され、要請対象医療機関の公表により、医療現場の混乱や一般住民の不安を招いた。また、医師確保計画及び外来医療計画の策定に向けて検討が進められた。県医師会とし

ては、議論の状況や課題等の把握、必要に応じて技術的助言に努め、地域の実情が反映されるよう県へ働きかけた。

救急・災害医療対策については新規事業として、ACLS シミュレータレンタル費用助成を1医療機関につき15万円を上限として行い、4機関に助成を行った。災害医療体制については、JMAT 研修として日本医師会 JMAT 研修要綱に基づき基礎編にあたる研修を行った。

地域包括ケアシステムの構築については、医療・介護関係の多職種を対象として、ネットワーク作りや市民啓発を目的とした在宅医療推進フォーラムを開催し、各職種団体の取組への理解、多職種連携の動機づけになった。

地域保健

妊産婦・乳幼児保健について、積極的な接種勧

出席者

代議員

宇部市	矢野 忠生	徳山	津永 長門
長門市	天野 秀雄	徳山	高木 昭
美祢市	札幌 博義	徳山	小野 薫
長門市	半田 哲朗	徳山	武居 道彦
柳井	弘田 直樹	徳山	山本 憲男
光市	廣田 修	徳山	梅原 毅
光市	井上 祐介	萩市	綿貫 篤志
山陽小野田	藤村 嘉彦	萩市	玉木 英樹
山陽小野田	伯野 卓	山口市	成重 隆博
山陽小野田	白澤 宏幸	山口市	林 大資
岩国市	小林 元壯	山口市	佐々木映子
岩国市	西岡 義幸	山口市	鮎川 浩志
岩国市	桑原 直昭	山口市	豊田耕一郎
下松	山下 弘巳	宇部市	黒川 泰
下松	宮本 正樹	宇部市	西村 滋生
防府	山本 一成	宇部市	土屋 智
防府	木村 正統	宇部市	内田 悦慈
防府	村田 敦	宇部市	永谷 学
防府	松村 康博	宇部市	山本 一嗣
防府	山縣 三紀		

県医師会

下関市	木下 毅	会長	河村 康明
下関市	飴山 晶	副会長	林 弘人
下関市	帆足 誠司	副会長	今村 孝子
下関市	綾目 秀夫	専務理事	加藤 智栄
下関市	堀地 義広	常任理事	萬 忠雄
下関市	石川 豊	常任理事	藤本 俊文
下関市	伊藤 裕	常任理事	沖中 芳彦
下関市	中司 謙二	常任理事	中村 洋
美祢郡	竹尾 善文	常任理事	清水 暢
吉南	西田 一也	常任理事	前川 恭子
吉南	小川 清吾	理事	白澤 文吾
吉南	嘉村 哲郎	理事	山下 哲男
熊毛郡	吉村伸一郎	理事	伊藤 真一
玖珂	藤政 篤志	理事	吉水 一郎
大島郡	野村 壽和	理事	郷良 秀典
		理事	河村 一郎
		理事	長谷川奈津江
		監事	藤野 俊夫
		監事	篠原 照男
		監事	岡田 和好

広報委員 渡邊 恵幸

奨が中止されている子宮頸がんワクチンの対象者への情報提供の実施を県及び市町に対して要望した。また、保護者が家庭で子どもの病気や怪我などに対処する際に、緊急度を自己判断し、行動するための知識や情報を提供すること目的に、子どもを持つ保護者と関わる機会のある医師、看護師、保健師等を対象に「成育支援セミナー～家庭看護力を学ぼう～」を開催した。

成人・高齢者保健では、糖尿病対策として山口県糖尿病療養指導士講習会を年4回開催し、160名を新たに「やまぐち糖尿病療養指導士」として認定し、全体で資格保有者は1,060名となった。健康教育委員会ではテーマを「アルコール依存」とし、健康教育テキストの内容を検討し発行した。感染症対策では、特に新型コロナウイルス感染症についての情報提供を迅速に行うとともに、対策会議や専門家会議、各都市医師会の役員を集めた会議を開催し、対応に向けた一層の連携を図った。

広報・情報

広報活動については、平成29年度にホームページを大幅にリニューアルしたが、さらなるコンテンツの充実に取り組んだ。県民公開講座については11月に開催し、近畿大学生物理工学部准教授でNHK「みんなで筋肉体操」にて筋肉指導を行っておられる谷本道哉先生に「100歳まで元気に過ごすための運動処方」と題してご講演いただき、参加者には大変好評であった。また、日医が作成したキャラクター「日医君」の山口県バージョンを用いてクリアファイル並びにポケットティッシュを作製した。これについては令和2年度に県民へ配布予定であったが、新型コロナウイルス感染症の関係で現時点では配布には至っていない。

花粉症情報提供事業では、県内20測定機関にスギ・ヒノキ花粉について1月から4月末日まで毎日測定していただき、関係機関やマスコミ等に情報提供を行った。なお、当事業は、医師会の活動の中では、県民にとって非常に認知されている事業である。

医事法制

過去3年に当会が受け付けた事故報告は、平

成28年度は29件、29年度は26件、30年度は18件で、令和元年度は13件であった。13件中、既に解決した案件が4件、交渉中が7件、そのほか訴訟や調停案件もある。

医療事故防止対策の一環として毎年行っている「医療紛争防止研修会」を開催し、医師だけでなく医療従事者や事務担当者などの全スタッフを対象に、紛争防止についての再確認をしていただくとともに、開催した病院の周辺医療機関の医師会員や医療安全担当者も多数ご参加いただいた。

勤務医・女性医師

勤務医部会では、勤務医をめぐる諸課題の解決に向け、都市医師会勤務医理事との懇談会、病院勤務医懇談会、市民公開講座等を企画、実施した。特に都市医師会勤務医理事との懇談会は、現場を良く知る都市医師会の勤務医理事と意見交換の場を設け、地域の課題を把握し、地域の実情に沿った勤務環境の改善等を検討していくとともに、勤務医の医師会活動への参加促進を行った。

市民公開講座は、山口市及び萩市で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、残念ながら開催を中止した。

女性医師事業については、3月にシンポジウム「新専門医制度に対する期待と不安～女性専攻医・女性研修医・女子医学生の立場から」の開催を予定していたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため中止した。育児支援について、平成21年から山口県の委託事業として専任の保育相談員を置き、同年に設立した保育サポーターバンクにおいて3月31日現在で総相談件数は198件、バンク登録者は84名となっている。

医業

医業経営対策としては、近年、「医業の事業承継」の課題があがってきている。令和元年度は最初の試みとして、会員医師及びその医療機関の経理担当者などに医療機関経営に係る税制・税務についての理解を深めることを目的に、日本医師会とともにセミナーを開催したところ、聴講者の関心が高いことがうかがえた。

医療従事者確保対策では、令和元年度は県下医師会立看護学校の要望も受け、「中四九地区医師

会看護学校協議会への学院（校）参加のための助成」と「看護教員養成講習会の通信受講者の支援」を行った。また、「看護学校課題対策検討会」を開催し、学校長や事務長だけでなく、運営医師会長にもご出席いただき、抱える問題について、より詳細な検討を行った。

※詳細については本号 570 ～ 587 頁を参照。

議事（議決事項）

議案第1号 令和元年度山口県医師会決算の件

長谷川理事 令和元年度の決算額は、収入の部は当期収入合計が4億1,324万1,438円、前期繰越収支差額5億2,674万3,758円と合わせ、収入合計は9億3,998万5,196円となった。これに対して支出の部は当期支出合計が3億6,429万2,873円で、当期収入から支出を差し引いた当期収支差額は4,894万8,565円となり、その結果、次期繰越収支差額は5億7,569万2,323円となった。

収入の部

Iの会費及び入会金収入は2億6,404万9,640円で、予算と比べて100.2%となった。会費収入は2億4,719万9,640円で予算と比べて0.5%の減となった。入会金収入は1,685万円で予算と比べて112.3%となった。

IIの補助金等収入は9,670万2,466円と予算額に対して6.9%の減となった。2の委託費収入は5,394万9,992円で13.6%の減であり、減額の主な理由は、県からの委託事業の休日がん検診体制整備支援事業、山口県医師臨床研修推進センター運営事業について事業実績に基づく精算のためである。次に負担金収入だが500万円で4.8%の減となっている。減額の主な理由は、県民の健康と医療を考える会の県民公開講座の開催見直しによるものである。

IIIの雑収入については4,387万2,603円となっている。主なものは各種保険取扱いの事務手数料で、合計が2,463万672円となっている。

IVの特定預金取崩収入は861万6,729円で、予算と比べて83%の減となっている。主な内訳は平成31年4月1日で70歳に達した第1号会員へ会館運営借入金の返済のために財政調整積立金を取

り崩したものと、職員の退職積立金を取り崩したものである。

以上で、当期収入は4億1,324万1,438円となった。

支出の部

予算と決算の差額が大きいものを中心に説明する。Iの実施事業の総額は1億3,024万4,480円で、予算額に対する執行率は74.2%となっている。1の生涯教育は1,423万8,924円の支出で、医学会総会、生涯研修セミナー、体験学習、指導医のための教育ワークショップなどに要した経費と学会助成金や山口県医学会誌の発行経費等で、執行率は89.4%となっている。2の医療・介護保険は1,002万8,305円の支出となり、医療保険においては保険委員会、審査委員合同協議会の開催経費等である。介護保険においては認知症の研修会開催経費などである。なお、執行率は80.1%である。3の地域医療は1,572万5,894円の支出で執行率は67.8%だが、地域包括ケアシステムの構築で在宅医療推進に係る都市医師会からの助成申請が見込みを下回ったことなどが予算と比べた主な減額の要因である。4の地域保健は2,931万2,979円で執行率は75.9%となっており、妊娠婦・乳幼児保健関係、学校保健関係、成人・高齢者、産業保健関係等に要した経費である。執行率については、成人・高齢者保健では県からの委託事業である休日がん検診体制整備の実績並びに会議開催経費等が見込みを下回ったことによるものである。5の広報・情報は1,483万229円の支出で執行率は80.6%であり、会報編集発行や花粉情報システム、医療情報関連などに要した経費であるが、県民の健康と医療を考える会の県民公開講座の見直しを行ったことなどが見込みを下回った理由である。6の医事法制は411万53円の支出で、医事紛争対策や医療事故調査制度などに要した経費である。執行率は49.4%であるが、その理由は診療情報提供で各種会議を集約化し開催経費や旅費の節減を図ったことによるものである。7の勤務医・女性医師は2,569万4,644円の支出で、執行率は68.8%である。その理由は、山口県医師臨床研修センター運営事業では福岡で出展を予定していたレジナビが新型コロナウイルス感染症拡大防止の

ため中止となったこと、会議等の開催経費が見込みを下回ったことによるものである。8の医業は1,630万3,452円の支出で、主に看護学校への助成など医療従事者確保対策等に要した経費である。執行率は77%だが、その理由は医療従事者確保対策で医師会立看護学校への助成について、助成申請が見込みを下回ったこと等によるものである。

Ⅱのその他事業は山口県医師会労働保険事務組合の図書費・会費や、団体扱い生命保険及びグループ保険にかかる経費である。

Ⅲの法人事業であるが総額2億568万846円で、執行率87.6%となっている。1の組織の支出は2,448万474円で執行率79%であるが、医事紛争に係る旅費が見込みを下回ったこと等によるものである。2の管理費の総額は1億8,120万372円で、本会を運営するための毎年度経常的に要する経費であり、執行率は88.9%である。給料手当と福利厚生費は職員の退職と新規採用に伴う新陳代謝により見込みを下回った。

Ⅳの借入金返済支出の720万円は、平成31年4月1日で70歳になられた第1号会員、また、第1号会員から第2号・第3号に変更された会員及び退会者に対する会館運営借入金返済支出である。

Ⅴの特定預金支出の2,072万5,391円は、役職員退職金引当預金支出である。

以上、支出合計は3億6,429万2,873円で執行率は82.6%となった。

公益会計基準を採用した正味財産増減計算書について、経常収益は4億462万4,709円で、前年度に比べて2,355万7,820円減少している。これは、主に小児救急電話相談事業が民間事業者に委託となったこと、また、医師臨床研修センター運営事業の事業実績が減少したことにより委託費が1,514万円減少したことと、前年度引受開催した全国有床診療所山口大会に関連する補助金、負担金、協賛金が合計812万円減少したことによるものである。これに対して、経常費用も各種会議の中止や見直しによる旅費交通費、謝金、賃借料の減少により、前年度に比べて3,473万3,391円減の3億6,989万5,007円となったため、当期経常増減額は3,472万9,702円となり、期首残高19億6,911万5,742円と合わせて期末の正味財産の

残高は20億384万5,444円となった。

なお、一般社団法人に移行する際に求められた公益目的支出計画実施報告書について、令和元年度の公益目的収支差額は15億1,805万4,928円で、計画額である17億4,213万5,066円との差額は2億2,408万0,138円となっている。新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、公益目的収支差額が計画における見込額を下回っており、この結果、公益目的財産残額は4億624万9,966円となっている。なお、同報告書は事業年度の経過後3か月以内に山口県知事に提出することになっている。

以上で、令和元年度決算についての説明を終わる。なお、決算内容及び公益目的支出計画実施報告書については公認会計士の点検を経て、監事の監査をいただいている。なにとぞ慎重にご審議のうえ、ご承認いただくようお願い申し上げます。

監査報告

藤野監事 令和元年度山口県医師会決算については、慎重に監査したところ、適正に処理され、その収支は妥当なものと認める。

令和2年5月14日

監事 藤野 俊夫

監事 篠原 照男

監事 岡田 和好

採決

矢野議長、採決に入る。議案第1号について賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

議案第2号 公益目的支出計画変更の件

長谷川理事 本会が一般社団法人への移行認可を受ける際に作成した公益目的支出計画では、今年度を最終年度としているが、先ほど令和元年度決算の説明の中で申し上げたとおり、公益目的収支差額が計画を下回り、公益目的財産残額は4億624万9,966円となっている。

当初計画に従い8年間で完了するためには、今年度中に、この4億円余を支出する必要があるが、例年に倍する額となり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響もある中、全額の執行は困

令和元年度山口県医師会収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

収 入 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する 収入割合(%)	備 考
I 会費及び入会金収入	263,481,000	264,049,640	568,640	100.2	
1 会 費 収 入	248,481,000	247,199,640	△ 1,281,360	99.5	
2 入 会 金 収 入	15,000,000	16,850,000	1,850,000	112.3	
II 補助金等収入	103,876,000	96,702,466	△ 7,173,534	93.1	
1 補 助 金 収 入	35,772,000	37,352,474	1,580,474	104.4	
	20,240,000		0		公費助成制度協力費交付金収入 20,240,000
	6,855,000		△ 121,000		日医事務助成金収入 6,734,000
	1,507,000		△ 250		日医生涯教育助成金収入 1,506,750
	1,520,000		0		医師会立看護師・准看護師養成助成金収入 1,520,000
	740,000		0		(財)労災保険情報センター事業運営費補助金収入 740,000
	1,000,000		0		労災保険共済事業振興助成金収入 1,000,000
	300,000		0		日医「指導医のための教育ワークショップ」補助金収入 300,000
	100,000		0		日医かかりつけ医機能研修制度支援金収入 100,000
	250,000		0		子ども予防接種対策助成金収入 250,000
	510,000		0		日医勤務医活動助成金収入 510,000
	500,000		0		日医「日本の医療を守るための国民運動」補助金 500,000
	500,000		0		世界糖尿病デー実行委員会助成金収入 500,000
	200,000		0		日本糖尿病学会支部助成金収入 200,000
	450,000		0		日医糖尿病対策地域支援助成金収入 450,000
	100,000		30,000		日医医師年金普及推進事務助成金収入 130,000
	1,000,000		△ 99,423		在宅医療助成勇美記念財団助成金 900,577
	0		1,771,147		医療事故調査等支援団体協議会運営費助成金 1,771,147
2 委 託 費 収 入	62,454,000	53,949,992	△ 8,504,008	86.4	
	1,607,000		△ 276,273		産業医研修委託費収入 1,330,727
	100,000		0		産業医研修協議会委託費収入 100,000
	150,000		0		学校医等研究委託事業委託費収入 150,000
	200,000		0		特定疾患専門医師研修委託費収入 200,000
	950,000		△ 291,400		かかりつけ医認知症対応力向上研修委託費収入 658,600
	948,000		0		花粉症対策情報提供事業委託費収入 948,000
	246,000		△ 122,600		主治医研修事業委託費収入 123,400
	985,000		△ 177,019		小児救急医療啓発事業委託費収入 807,981
	320,000		0		AED普及促進事業委託費収入 320,000
	1,594,000		0		小児救急医療地域医師研修事業委託費収入 1,594,000
	1,240,000		△ 301,000		緩和ケア医師研修事業委託費収入 939,000
	3,000,000		0		女性医師保育等支援事業委託費収入 3,000,000
	13,830,000		△ 1,790,922		休日夜間がん検診整備事業委託費収入 12,039,078
	14,235,000		△ 4,813,513		山口県医師臨床研修推進センター運営事業委託費収入 9,421,487
	305,000		1,000		認知症サポート医フォローアップ研修委託費収入 306,000
	1,791,000		△ 737,200		難病指定医研修会委託費収入 1,053,800
	500,000		0		胃内視鏡検診研修事業委託費収入 500,000
	400,000		0		指導医養成ワークショップ開催委託費収入 400,000
	193,000		0		オレンジドクター制度委託費収入 193,000
	19,860,000		4,919		出向職員委託費収入 19,864,919
3 負 担 金 収 入	5,250,000	5,000,000	△ 250,000	95.2	
	5,000,000		0		山口県臨床研修推進センター運営負担金収入 5,000,000
	250,000		△ 250,000		県民の健康と医療を考える会負担金収入 0
4 寄 付 金 収 入	400,000	400,000	0	100.0	400,000
III 雑 収 入	44,775,000	43,872,603	△ 902,397	98.0	
1 雑 収 入	44,775,000	43,872,603	△ 902,397	98.0	
	1,435,000	1,508,925	73,925		会館使用料収入 1,508,925
	3,000,000	1,978,266	△ 1,021,734		預金利子収入 1,978,266
	40,340,000	40,385,412	45,412		雑入収入 40,385,412
					各種保険集金事務費 16,595,393円
					生命保険・グループ保険事務費 8,035,279円
					山福(株)・第一生命配当金 8,290,000円
					人件費(事務受託4団体) 850,000円
					医療事故調査支援費用 600,000円
					労働保険事務組合報奨金 772,900円
					講習会受講料 3,232,000円
					認定産業医・スポーツ医申請手数料 915,000円
					糖尿病資格更新手数料 216,000円
					母体保護審査手数料 92,000円
					会報購読料 220,000円、会報広告料 559,840円
					学校医の手引き売上 1,000円、会員名簿売上 5,000円
					保険診療の手引き売上 1,000円
IV 特定預金取崩収入	51,852,000	8,616,729	△ 43,235,271	16.6	
1 役員退職金引当預金取崩収入	0	0	0		
2 職員退職給与引当預金取崩収入	1,851,000	1,110,300	△ 740,700	60.0	
3 財政調整積立預金取崩収入	50,000,000	7,506,429	△ 42,493,571	15.0	
4 会館改修積立預金取崩収入	1,000	0	△ 1,000	0.0	
当期収入合計 (△)	463,984,000	413,241,438	△ 50,742,562	89.1	

支 出 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する 支出割合(%)	備 考
I 実施事業	175,487,000	130,244,480	45,242,520	74.2	
1 生涯教育	15,927,000	14,238,924	1,688,076	89.4	
	9,782,000		348,896		学術講演研修 9,433,104
	1,020,000		240,000		専門分科会助成 780,000
	2,177,000		△ 109,700		地域医学会 2,286,700
	300,000		50,000		その他の助成 250,000
	1,648,000		1,002,800		生涯教育関係連絡協議会 645,200
	1,000,000		156,080		山口県医学会誌の発行 843,920
2 医療・介護保険	12,527,000	10,028,305	2,498,695	80.1	
	7,577,000		684,052		医療保険 6,892,948
	3,003,000		1,466,843		介護保険 1,536,157
	1,553,000		213,300		労災保険 1,339,700
	394,000		134,500		自賠責医療 259,500
3 地域医療	23,186,000	15,725,894	7,460,106	67.8	
	2,847,000		1,334,500		保健医療計画の推進 1,512,500
	4,202,000		676,536		救急医療・災害医療 3,525,464
	2,579,000		1,428,882		小児救急医療 1,150,118
	1,315,000		33,570		警察医会 1,281,430
	8,240,000		2,598,538		地域包括ケアシステムの構築 5,641,462
	2,843,000		1,228,080		有床診療所関連 1,614,920
	1,000,000		0		医師確保対策 1,000,000
	160,000		160,000		地域福祉 0
4 地域保健	38,627,000	29,312,979	9,314,021	75.9	
	2,120,000		746,771		妊産婦・乳幼児保健 1,373,229
	6,699,000		3,420,742		学校保健 3,278,258
	27,232,000		4,984,310		成人・高齢者保健 22,247,690
	2,576,000		162,198		産業保健 2,413,802
5 広報・情報	18,397,000	14,830,229	3,566,771	80.6	
	4,339,000		1,901,769		広報活動 2,437,231
	9,474,000		626,115		会報編集発行 8,847,885
	2,129,000		399,523		花粉情報システム 1,729,477
	2,455,000		639,364		医療情報関連 1,815,636
6 医事法制	8,316,000	4,110,053	4,205,947	49.4	
	1,661,000		134,611		医事紛争対策 1,526,389
	6,165,000		3,581,336		診療情報提供 2,583,664
	490,000		490,000		薬事対策 0
7 勤務医・女性医師	37,321,000	25,694,644	11,626,356	68.8	
	7,636,000		2,793,380		勤務医対策 4,842,620
	22,468,000		7,690,033		山口県医師臨床研修センター運営事業 14,777,967
	7,217,000		1,142,943		女性会員対策 6,074,057
8 医 業	21,186,000	16,303,452	4,882,548	77.0	
	631,000		199,280		医業経営対策 431,720
	19,897,000		4,074,968		医療従事者確保対策 15,822,032
	354,000		354,000		労務対策 0
	304,000		254,300		医療廃棄物対策 49,700
II その他の事業	508,000	442,156	65,844	87.0	
1 収 益	508,000	442,156	65,844	87.0	
					図書費・会費 47,200
					印刷費・通信費 145,976
					修繕費 248,980

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する 支出割合(%)	備 考
Ⅲ 法人事業	234,783,000	205,680,846	29,102,154	87.6	
1 組 織	30,972,000	24,480,474	6,491,526	79.0	
	1,440,000		883,840		表 彰 556,160
	368,000		253,700		調査研究 114,300
	2,447,000		407,000		都市医連絡 2,040,000
	340,000		100,000		会員の親睦 240,000
	4,375,000		1,278,600		弔 慰 3,096,400
	2,214,000		738,436		中国四国医師会連合関係 1,475,564
	2,752,000		1,468,200		新公益法人制度移行検討事業 1,283,800
					(医事紛争関係) 1,283,800
	625,000		112,620		母体保護法指定医関係 512,380
	872,000		575,100		関係機関連携 296,900
	726,000		173,280		医師会共同利用施設対策 552,720
	800,000		340,000		社会貢献事業 460,000
	283,000		160,750		医政対策 122,250
	13,730,000		0		公費助成制度交付金 13,730,000
2 管 理	203,811,000	181,200,372	22,610,628	88.9	
(1) 報 酬	15,130,000	15,130,000	0	100.0	
	12,020,000		0		役員報酬 12,020,000
	3,110,000		0		報 償 金 3,110,000
	0		0		役員退職金 0
(2) 給 料 手 当	99,759,000	94,669,318	5,089,682	94.9	
	96,841,000		3,281,982		職員給料 93,559,018
	1,067,000		1,067,000		賃 金 0
	1,851,000		740,700		職員退職金 1,110,300
(3) 福 利 厚 生 費	20,512,000	17,902,341	2,609,659	87.3	
	2,330,000		△ 383,577		役員厚生費 2,713,577
	18,182,000		2,993,236		職員福利厚生費 15,188,764
(4) 旅 費 交 通 費	16,000,000	10,552,070	5,447,930	66.0	
(5) 会 議 費	3,000,000	1,993,766	1,006,234	66.5	
(6) 需 用 費	17,750,000	16,839,606	910,394	94.9	
	6,500,000		△ 1,200,774		消耗品費 7,700,774
	1,400,000		86,257		図 書 費 1,313,743
	4,000,000		1,836,390		印刷製本費 2,163,610
	3,850,000		189,869		通信運搬費 3,660,131
	2,000,000		△ 1,348		使 用 料 2,001,348
(7) 備 品 購 入 費	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
(8) 会 館 管 理 費	14,960,000	12,679,955	2,280,045	84.8	
	11,760,000		1,001,315		管理諸費 10,758,685
	3,500,000		896,462		光熱水費 2,603,538
	2,650,000		△ 318,668		清掃・空調メンテナンス委託費 2,968,668
	4,670,000		10,096		区分所有・営繕費負担金 4,659,904
	600,000		484,960		消耗品代 115,040
	340,000		△ 71,535		火災保険保険料 411,535
	2,000,000		959,744		修 繕 費 1,040,256
	1,200,000		318,986		賃 借 料(土地、駐車場) 881,014
(9) 渉 外 費	3,000,000	1,157,036	1,842,964	38.6	
(10) 公課並びに会費・負担金	12,200,000	9,787,635	2,412,365	80.2	租税公課8,634,135円、会費526,800円
(11) 雑 費	500,000	488,645	11,355	97.7	寄付金70,000円 台風被害寄付金500,000円その他56,700円
Ⅳ 借入金返済支出	9,000,000	7,200,000	1,800,000	80.0	
1 会館運営会員借入金返済支出	9,000,000	7,200,000	1,800,000	80.0	
Ⅴ 特定預金支出	21,442,000	20,725,391	716,609	96.7	
1 役員退職金引当預金支出	16,600,000	16,600,000	0	100.0	
2 職員退職給与引当預金支出	4,842,000	4,125,391	716,609	85.2	
3 財政調整積立預金支出	0	0	0		
4 会館改修積立預金支出	0	0	0		
当期支出合計 (B)	441,220,000	364,292,873	76,927,127	82.6	
当期収支差額 (A)－(B)	22,764,000	48,948,565	△ 26,184,565		

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業会計	その他事業会計	法人会計	当年度合計	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費及び受取入会金	0	0	264,049,640	264,049,640	265,770,270	△ 1,720,630
受取補助金	10,248,474	0	27,104,000	37,352,474	40,039,250	△ 2,686,776
委託費収益	34,085,073	0	19,864,919	53,949,992	69,088,991	△ 15,138,999
受取負担金	5,000,000	0	0	5,000,000	6,446,000	△ 1,446,000
受取寄付金	0	0	400,000	400,000	400,000	0
雑収益	5,711,840	25,403,594	12,757,169	43,872,603	46,438,018	△ 2,565,415
経常収益計	55,045,387	25,403,594	324,175,728	404,624,709	428,182,529	△ 23,557,820
(2) 経常費用						
事業費	267,083,064	8,675,078	94,136,865	369,895,007	404,628,398	△ 34,733,391
役員報酬	9,411,660	48,080	2,560,260	12,020,000	12,020,000	0
役員退職給付費用	11,952,000	166,000	4,482,000	16,600,000	16,600,000	0
給料手当	64,683,846	4,116,597	27,132,115	95,932,558	94,498,649	1,433,909
職員退職費用	2,747,510	181,518	1,196,364	4,125,392	7,144,416	△ 3,019,024
福利厚生費	12,377,253	787,703	5,191,679	18,356,635	17,960,912	395,723
消耗什器備品	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	51,189,255	464,291	5,588,040	57,241,586	61,290,844	△ 4,049,258
諸謝金	11,320,631	4,752	641,480	11,966,863	22,295,580	△ 10,328,717
印刷製本費	10,829,180	134,726	1,132,077	12,095,983	14,530,732	△ 2,434,749
広告広報費	210,512	0	0	210,512	261,120	△ 50,608
図書教育費	1,101,040	61,005	380,985	1,543,030	1,795,866	△ 252,836
消耗品費	6,791,626	353,076	2,266,586	9,411,288	5,715,599	3,695,689
渉外費	0	0	2,580,911	2,580,911	6,273,933	△ 3,693,022
通信運搬費	6,937,027	209,822	1,061,438	8,208,287	8,590,332	△ 382,045
光熱水費	1,733,956	114,556	755,026	2,603,538	3,401,596	△ 798,058
支払手数料	2,091,260	136,840	901,900	3,130,000	3,088,000	42,000
支払助成金	45,067,485	0	16,160,000	61,227,485	61,228,373	△ 888
支払負担金	3,376,998	207,531	5,272,315	8,856,844	9,621,122	△ 764,278
支払寄付金	479,620	25,080	235,300	740,000	2,640,000	△ 1,900,000
賃借料	4,206,569	38,765	255,494	4,500,828	8,701,623	△ 4,200,795
リース料	1,332,898	88,059	580,391	2,001,348	1,556,712	444,636
修繕費	967,810	311,972	301,674	1,581,456	679,168	902,288
委託費	1,977,133	130,621	860,914	2,968,668	4,783,050	△ 1,814,382
会議費	0	0	7,668,908	7,668,908	11,467,268	△ 3,798,360
諸会費	515,849	67,179	162,772	745,800	728,500	17,300
租税公課	5,789,584	379,902	2,503,899	8,673,385	12,849,125	△ 4,175,740
保険料	401,874	18,108	119,345	539,327	826,059	△ 286,732
雑費	324,807	16,748	110,386	451,941	107,059	344,882
減価償却費	9,265,681	612,147	4,034,606	13,912,434	13,972,760	△ 60,326
経常費用計	267,083,064	8,675,078	94,136,865	369,895,007	404,628,398	△ 34,733,391
当期経常増減額	△ 212,037,677	16,728,516	230,038,863	34,729,702	23,554,131	11,175,571
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 212,037,677	16,728,516	230,038,863	34,729,702	23,554,131	11,175,571
一般正味財産期首残高	△ 1,306,017,251	110,485,522	3,164,647,471	1,969,115,742	1,945,561,611	23,554,131
一般正味財産期末残高	△ 1,518,054,928	127,214,038	3,394,686,334	2,003,845,444	1,969,115,742	34,729,702
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 1,518,054,928	127,214,038	3,394,686,334	2,003,845,444	1,969,115,742	34,729,702

難な状況にある。

このため、計画期間を令和4年度まで2年延長するとともに、その間の年次支出計画の額を実績に基づいて引き下げようとするものである。

なお、決議をいただいた上で、山口県知事に変更認可を申請することとなる。

以上、ご審議よろしく願います。

採決

矢野議長、採決に入る。議案第2号について賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

議案第3号 山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件

矢野議長 次に、「議案第3号 山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件」についてであります。

（事務局長、議案第3号を朗読）

この件については、5月21日開催の第185回臨時時代議員会において当選人が決定しております。本日は、定款第32条第1項の規定に基づき、山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員の選任決議を行います。

今回の当選人は、第185回臨時時代議員会において当選人として決議された方々であり、理事候補者16名、監事候補者3名、裁定委員候補者11名の選任について、役職ごとに決議を行いたいと思いますが、ご異議はございませんか。

（「異議なし」との声あり）

ありがとうございます。異議なしとのことで、議案第3号について、理事当選人16名の選任決議に入ります。

会長候補者理事として河村康明 君、副会長候補者理事として加藤智栄 君、今村孝子 君、理事候補者として上野雄史 君、前川恭子 君、清水暢 君、山下哲男 君、白澤文吾 君、沖中芳彦 君、長谷川奈津江 君、伊藤真一 君、河村一郎 君、中村 洋 君、郷良秀典 君、藤原 崇 君、茶川治樹 君、以上16名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

ありがとうございます。挙手全員ですので、16名を理事に選任決議いたしました。

続きまして、監事候補者3名の選任決議に入ります。

監事候補者として藤野俊夫 君、岡田和好 君、篠原照男 君、以上3名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

ありがとうございます。挙手全員ですので、3名を監事に選任決議いたしました。

続きまして、裁定委員11名の選任決議に入ります。

裁定委員として守田知明 君、砂川 功 君、久保宏史 君、松村茂一 君、浅山琢也 君、伊藤 肇 君、平岡 博 君、小金丸恒夫 君、三好正規 君、保田浩平 君、秀浦信太郎 君、以上11名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

ありがとうございます。挙手全員ですので、11名を裁定委員に選任決議いたしました。

よって、議案第3号は原案のとおり決議いたしました。

議案第4号 山口県医師会役員（会長、副会長）選定の件

矢野議長 続きまして、「議案第4号 山口県医師会役員（会長、副会長）選定の件」に移ります。

（事務局長、議案第4号を朗読）

この件につきましては、議案第3号同様に会長候補者、副会長候補者ともに、第185回臨時時代議員会において当選人と決議された方々であり、役職ごとに決議したいと思いますが、ご異議はございませんか。

（「異議なし」との声あり）

ありがとうございます。それでは、全員賛成により、議案第4号について、会長1名、副会長2名の選定決議に入ります。

会長の選定について、原案のとおり、河村康明 君を会長に選定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

ありがとうございます。挙手全員ですので、河村康明 君を会長に選定決議いたしました。

次に、副会長の選定について、原案のとおり、

加藤智栄 君、今村孝子 君を副会長に選定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員ですので、加藤智栄 君、今村孝子 君の2名を副会長に選定決議いたしました。

よって、議案第4号は、原案のとおり決議いたしました。

議案第5号 令和3年度山口県医師会会費賦課徴収の件

長谷川理事 令和3年度の会費の賦課については、第1号会員から第3号会員まで、すべて令和2年度と同様の内容となっている。また、日本医師会会費賦課額については、令和2年6月27日開催の第147回日本医師会定例代議員会において決定した額とすることになっている。

議案第6号 令和3年度山口県医師会入会金の件

長谷川理事 令和3年度山口県医師会入会金については、令和2年度と同様の内容となっている。

議案第7号 令和3年度役員等の報酬の件

長谷川理事 一般社団法人山口県医師会定款第36条の規定により、理事及び監事に対して、代議員会において定める総額の範囲内で、代議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができることとされており、その額は、令和2年度と同額の1,202万円である。

採決

矢野議長、採決に入る。議案第5号、第6号及び第7号について一括採決に入る。賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

議案第8号 顧問委嘱の件

河村会長 顧問の委嘱については、定款第38条に規定されており、代議員会の決議を経て会長が委嘱することになっていることから15名の方を顧問として委嘱したいと思うので、ご承認いただくよう、よろしくお願い申し上げます。

採決

矢野議長、採決に入る。議案第8号について採決に入る。賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

閉会挨拶

河村会長 先程は会長に選定いただきまして誠にありがとうございました。3期目を迎えるにあたり、今、私が思っていることを述べさせていただこうと思います。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式が国から求められておりますが、医師も医療の世界で変化していかなければいけないと思っています。その中で、まずPCR検査については今後、行政を通さずに直接検査を依頼することができるようになるというような話が出ており、そうなりますと、かなりスムーズに検査ができる方向になるのではないかと考えています。

次に昨年、妊婦加算がなくなりましたが、中医協の会長が辞められるときに言われたのは、今まで診療報酬を決定するときに支払例と診療側とで対立していたが、これからは患者の視点で考える時期にきているのではないかとのことでした。われわれもこのことを肝に銘じておく必要があるのではないかと考えています。

オンライン診療については、本来であれば実際に患者さんを診て診療を行うわけですが、今はこのような時代なので「オンライン診療もあり」ということになっており、コロナのオンライン診療の加算に1万施設以上が登録しているという現実があり、そういった点をどのように考えていくかが大きな課題であります。

4月、5月は患者さんの数がかなり減少し、診療報酬もかなり減少したという医療機関が多いと思います。特に小児科、耳鼻科、小児救急がこれにかなり該当していると思いますが、受診なくとも症状にあまり変化がないということになると、患者さんサイドからすれば、「今までは不要不急の診察をしていたのか」というような話が出てくるかもしれません。長期処方等の問題が出てくるかもしれず、その際にはご議論いただきたいと思います。

AI、キャッシュレス化、顔認証につきまして、そういった制度が始まるかもしれない、顔認証については早いところで10月くらいに機械が入るとのことであり、来年の3月には入ってくるということです。キャッシュレス化については、1,000～2,000件ぐらいの単位でやってみて、これがどのような方向に進むかということがあると思います。

また、手数料を取られることになるので、それを何%まで下げることができるかが大切でありま

す。顔認証については、認証の機械が非常に高額であることが問題であり、今後の課題だと考えています。

以上のような事柄につきまして、今後、皆様方のお知恵をお借りしながら、また、議論させていただきながら検討していきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

傍聴印象記

広報委員 渡邊 恵幸

第186回山口県医師会定例代議員会が令和2年6月18日の午後3時より山口県総合保健会館2階「第1研修室」で開催された。例年なら6階の会議室で行われるのだがコロナ感染の予防のため急遽、変更になった。まず、受付で発熱のチェック項目に答え、それからアルコール消毒をしてマスク着用はそのまま入室した。室内はソーシャルディスタンスのため一人一机であった。なかなか経験できないことを体験させていた。

まず、令和元年度の山口県医師会事業報告が行われ、質問はなかった。いつもながら、これだけの多くの仕事を本業と共にされていることに感嘆する。次に議決事項に入った。8件の議案があり、それぞれが承認された。その中で今回は県医師会役員の選定があり河村康明先生が会長に、加藤智栄先生、今村孝子先生が副会長に選定された。その他の事項も議長の方針で円滑な進行にてすべて承認された。会議の最後に、長年にわたり役員をお務めになった林弘人先生、萬忠雄先生、藤本俊文先生、吉水一郎先生の4名の先生方に河村会長より感謝状が贈呈された。

コロナ禍のもと、いろいろな制限がある中で、また、当日は大雨警報が出されている中で代議員会であった。新型コロナウイルス感染症の流行

も小康状態にあるものの、7月より再び上昇状態にある。とにかく根気よく発生源を断ち切ることだと思う。今さら焦っても仕方がない。そうとは言え、新型コロナウイルス感染症に日常生活の規制は必要である。給付マスク2枚に税金266億円を費やすよりも、発生源を発見する方にお金を使う方が医療崩壊を防ぐ手立ての一つであろう。すでに生活破綻をきたしている人も多いのである。その中で令和2年7月の豪雨が発生した。二つとも多くの死亡者を出している。大事な生命が次から次へと失われていく。その中で、3歳の女兒を8日間放置して死亡させた23歳の母親が逮捕された事件が起きた。女兒の悲痛の声が聞こえてくる。何ともいたたまれない。児童虐待に関しては何としても社会全体として考えていきたいものだ。しかし、現在の学業優先の教育では無理かと思う。だからこその幼少時期からの情操教育が必要だと思う。教育に素人の私がこのようにことを述べるのは、はなはだ恥ずかしいのだが医療に従事していることから一言述べてみた。

先が見えない新型コロナウイルス感染症、令和2年の7月豪雨を引き起こした梅雨前線と暗い話ばかりである。どうかせめてこの秋には素晴らしい錦繡に出会いたいものである。